

大学院学術研究集会（第3回）報告

大学院スポーツ健康科学研究科長
形本 静夫

大学院全体の研究活動の活性化を目指して、研究科長主催の大学院学術研究集会を23年春より開催している。外部の新進気鋭の若手研究者の話を聞く機会を持つことにより、大学院関係の教員や学生はもちろんのこと、さくらキャンパス全体の研究意欲と独創性の醸成を意図しようとしたものである。

3回目となる今回は、筑波大学体育系准教授の澤江幸則先生をお招きし、スポーツを通じた障害者支援の実際やその理論および方法についてご講演いただくことを旨に、平成24年10月29日（月）16時30分より1時間、さくらキャンパス21番教室において開催した。

「アダプテッド・スポーツに関する話題～発達障害のある子どもに対する運動発達支援～」と題して行われた講演には、教員、大学院生のみならず学部学生も含む総勢約50名が参加した。ロンドンオリンピックおよび同パラリンピックの記憶も新しく、非常にタイムリーな話題をご提供いただけたため、質疑応答も活発に行われた。

講演終了後は、澤江先生を囲んでの懇親会が催された。研究の第一線で活躍される先生との懇談が、大学院生各自に多くの刺激と示唆をもたらしたことと思う。それらがいつか、本学の研究活動に還元されることを願ってやまない。

●澤江 幸則先生のプロフィール

【現職・学位】

現職：筑波大学体育系准教授

学位：博士（教育学）

【主な研究テーマ】

- 1) 発達障害児の運動発達特性とその支援
- 2) 障害支援施設における健康増進活動
- 3) 自閉症スペクトラム障害児の運動発達と社会性発達の機能連関
- 4) アダプテッド・スポーツへの興味関心
- 5) 当事者からみたインクルーシブ体育のあり方

【研究キーワード】

アダプテッド・スポーツ科学、インクルーシブ体育、運動発達支援、発達障害児

【主な研究業績】

- 1) 澤江幸則ら：体育専攻学生のアダプテッド・スポーツ活動への関心を高めるための教育内容について。障害者スポーツ科学, 9(1): 35-45, 2011
- 2) 澤江幸則：思春期・青年期の運動発達と身体活動支援。発達教育, 368: 7-11, 2011
- 3) 澤江幸則：発達障害児における運動能と対人行動調整との関連性に関する研究Ⅱ。日本発達心理学会第22回大会, 2011

- 4) 澤江幸則：サーキットプログラムって何？(連載：生活課題へつなげるサーキットプログラム第1回). 月刊実践障害児教育, 448: 29-32, 2010
- 5) 澤江幸則ら：障害のある子どもの運動あそび(松原 豊; 監修). Video Tone 株式会社新宿スタジオ, 2010 <DVD 教材>

【主な社会貢献実績】

- 日本体育学会, 日本アダプテッド・体育スポーツ学会, 発達障害学会, 発達心理学会などに所属
- 厚生労働省障害者福祉推進事業「障害者フィットネス推進委員会」委員
- 発達的に気になる子どもや発達障害児のための家族参加型スポーツ教室での指導
- 自閉症協会東京支部主催キャンプのプログラム監修
- 臨床発達心理士

(以上, 筑波大学体育系ホームページ <http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/>より抜粋)

